



池田中学校の同級生でつくる「池仲一家」。日本美化し隊などその活動は、今、叫ばれている地域の絆の再発見！代表の川瀬遊陽さん（24歳）を直撃しました。



1. 「池仲一家」を立ち上げたきっかけは

21歳の頃、友人達との飲み会で「故郷池田に誇りを持ち、目的・目標・夢を持ち、イキイキ暮らしている人が何人いるだろうか？一人でも多く、笑顔に元気にできないだろうか？」と話題に出たことがきっかけで、まずは同志を結集しよう！と池仲一家を立ち上げました。

2. 今までの活動内容は

我々はその笑顔が創造でき、賛同した人が賛同した事にだけ参加するという自発性を重視した活動を行なっています。過去の主だった活動は、講演会・ゴミ拾い・東北支援・多種多勢で行う飲み会などなど…決まり拘束はありません。中でも大嶋啓介氏をお招きし行なった講演会では、300名のお客様が集まり、多くの笑顔を生み出すことができました。

3. やりがい・嬉しかったことは

今ある仕組みは古く、時代に合っていない。変



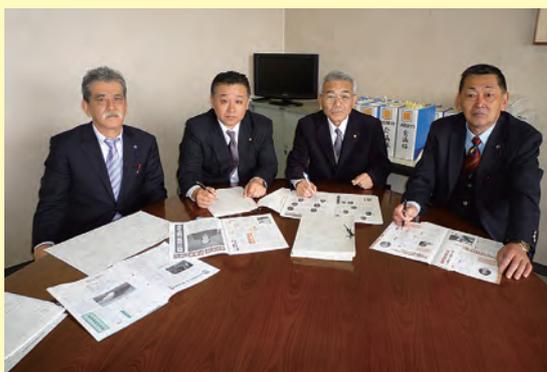
わらない大好きな池田である為には変わり続けなくてはなりません。新たな価値を創造し、提供し笑顔が生み出された時、一番のやりがいを感じます。また活動で多くの素敵な出逢いが起きる事にとっても幸福を感じています。

4. 今後の活動への想いは

あっという間に創設から四年が経ちました、我々も確実に歳をとります。この想いを後輩世代に伝えていきたい、支援したいと強く願っています。

皆さん、人生とは祭りであり、年に一度の祭りを待っているよりも、自分で祭りを作り、その中で血を沸らして毎日を送っている方がよっぽど楽しい人生です。我々と自慢できる故郷を創造していきましょう。

同級生の絆を大切に、ふる里を想い活動を続けていく青年たちの熱い想いに、我々議会人も教わる点が多い。毎年成人式には、卒業年度の池仲一家が誕生すれば、一層活力ある町づくりが期待できそうである。がんばれ池仲一家！（牧村範康）



白井幹夫 牧村範康 竹中芳弘 渡辺幸一

遅咲きながらも池田山麓が鮮やかなピンク色に染まり、活力に満ちた息吹が感じられます。議会も4月から新しい10名の議員でスタートしました。今期から広報編集委員は4名となりましたが、少数精鋭でこれまで以上に町民目線を大切にし、「議会だより」が町民の皆様の「絆」となるよう、見やすく、読みやすく、わかりやすい紙面づくりに励んでまいります。是非、皆様のご意見ご感想をお寄せ下さい。（委員長 牧村範康）

編集後記